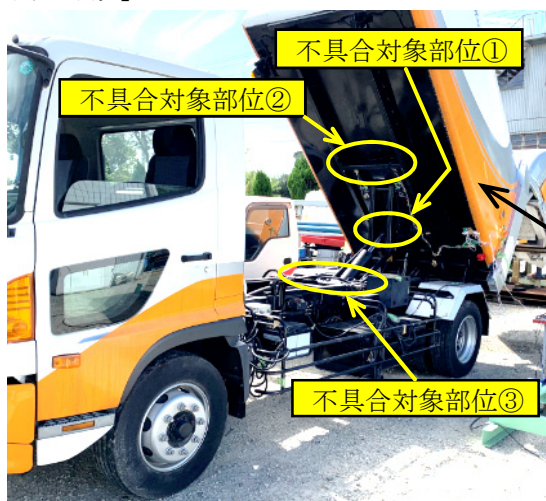


改善箇所説明図

【対象車両外観】



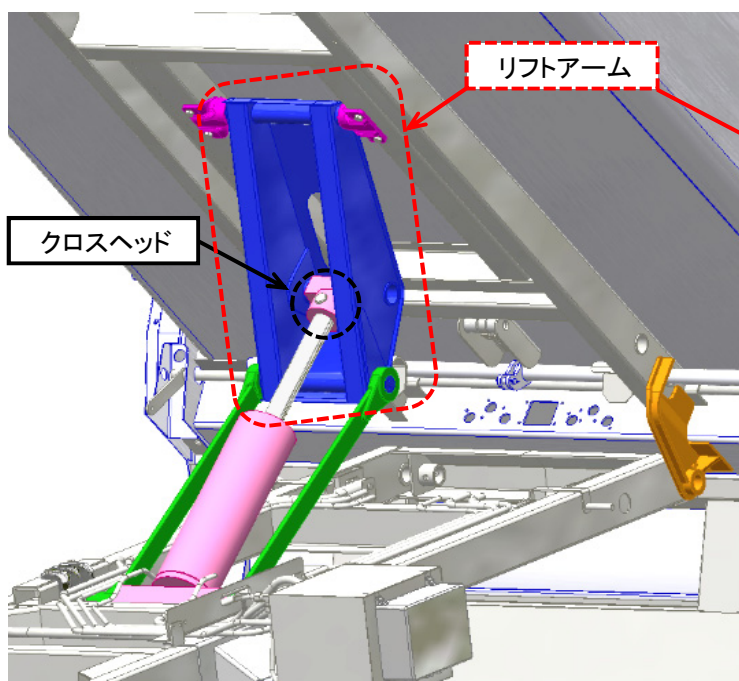
ダンプ状態(給脂姿勢)外観



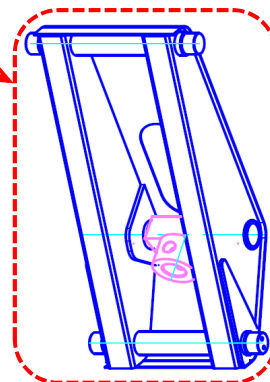
走行姿勢外観

【改善対象部位詳細】

① リフトアーム(クロスヘッド)を対策品に交換する

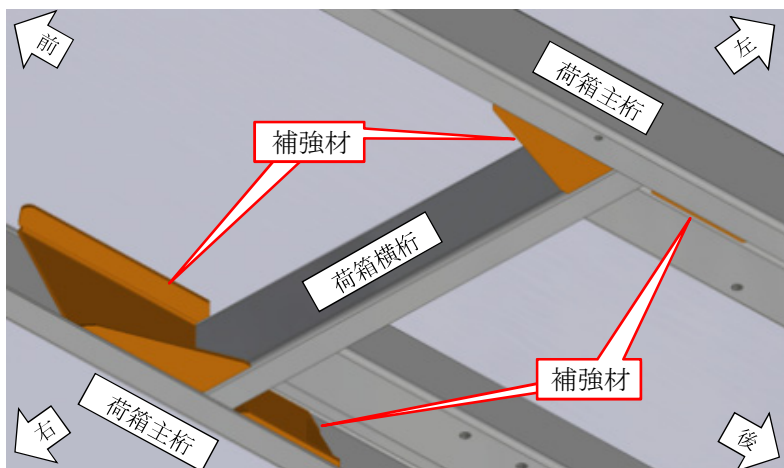


は交換する部品



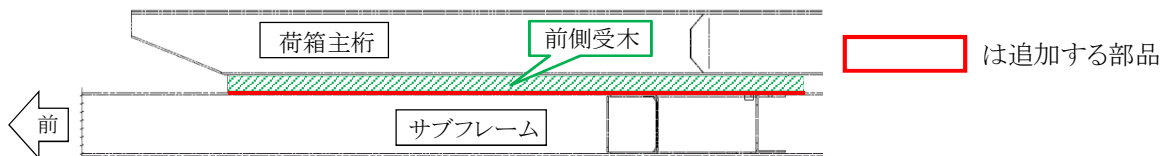
【注】
クロスヘッド単体の交換ができない構造のため、リフトアーム(クロスヘッド含む)を対策型に交換します。

②-1 荷箱主桁と横桁の前後に補強材を追加する

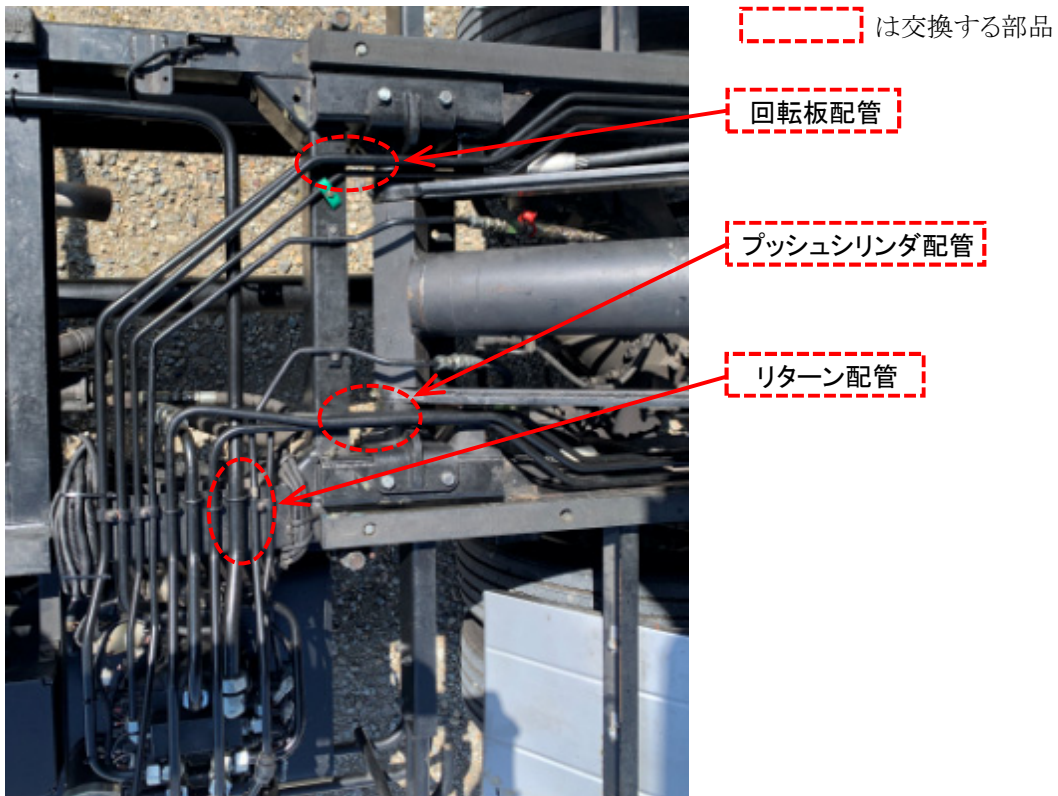


は追加する部品

②-2 前側受木の下面にシムプレートを追加する



③ 油圧配管に損傷が見られた場合は対策型油圧配管に交換する



油圧配管配策状況

【不具合の内容】

塵芥車において、

- ① ダンプ機構上部のリフトアーム(クロスヘッド)軸部の設計評価が不適切なため、特定の姿勢以外で給脂ができないものがある。そのため、給脂しない状態で使用を続けると、当該部から異音が発生するおそれがある。
- ② 荷箱の製造工程が不適切なため、溶接工程の熱影響を考慮せず製造したものがある。そのため、荷箱主桁が反り返った状態となることで、受木との隙間が発生し、荷箱主桁の一部に応力が集中し、走行振動等の影響で亀裂が発生するおそれがある。
- ③ 油圧配管の取付け工程の配策後の確認が不適切なため、油圧配管が図面どおりの経路を通っていないものがある。そのため、油圧配管と荷箱のすき間が少ないため、油圧配管が荷箱と接触し、油圧配管が損傷するおそれがある。

【改善の内容】

全車両、

- ① リフトアーム(クロスヘッド)を対策品に交換する。
- ② 荷箱主桁と横桁の前後に補強材を追加する。なお、受木下面と主桁との隙間を確認し、すき間がある場合は、シムプレートを追加してすき間の調整を行う。加えて荷箱主桁の溶接部を確認し、亀裂が発生しているものは補修溶接を行う。
- ③ 荷箱と油圧配管の接触の有無を確認し、接触痕があるものは新品の油圧配管に交換する。荷箱との間隙が不十分なもの調整する。

【識別方法】

改善実施済車は、運転者席側ドア開口部のドアロックストライカ付近に青丸印のステッカーを貼付けする。